

1. かわしんの基本理念

当金庫は創業以来、地域に根付く協同組織金融機関として相互扶助の精神のもと、お客さま、地域社会そして当金庫役職員と当金庫を取り巻く全てのステークホルダーが共に持続的な成長・発展が出来るように、

1. 中小企業の健全な発展をはかる。
2. 豊かな国民生活の実現に協力する。
3. 地域社会の発展に奉仕する。

を基本理念とし地域社会の更なる発展を目指しております。

過去 4 年間にわたり金融当局より呈示された「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」「地域密着型金融の機能強化に関するアクションプログラム」を実施し、この活動こそが地域金融機関である信用金庫の「あるべき姿」と認識しております。お客さまと質の高いコミュニケーションを通じて、お客さまの経営状態を的確に把握し経営相談を行う等の地域密着型金融を推進し、地域経済の活性化を目指してまいりました。

金融当局より呈示されたアクションプログラムは、平成 19 年 3 月末をもって終了しましたが、当金庫といたしましては「地域密着型金融」を経営戦略上の最優先活動と位置付けており、本年度新たに「地域密着型金融推進計画」（平成 19 年～20 年度）を策定し、積極的に地域社会の発展に貢献してまいります。

2. 地域密着型金融の恒久的な取組みへ向けて

当金庫では、平成 19 年度業務運営計画の重点課題の第一に「地域企業に対する経営支援機能の強化と地域の活性化の推進」を掲げています。これは、地域金融機関が地域経済の活性化に貢献する為には、「地域密着型金融」のビジネスモデルを確立・深化することが必要であると認識しており、当金庫では「地域密着型金融」を恒久的な活動として推進してまいります。

平成 19 年～20 年度地域密着型金融推進計画においては、

- I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- II. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- III. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

の 3 つの活動を軸に、より一層地域企業に対する経営相談・支援機能を強化し、積極的に地域経済への貢献・活性化に努めてまいります。

3. 「平成 19 年～20 年度地域密着型金融推進計画」の具体策

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

【取組方針】

地域の中小零細企業の多くが厳しい経営環境にさらされており、地域経済の活性化や金庫経営の健全化を確保するためにも地域企業への経営支援が必要であるとの認識から、これまでも特色ある工夫を行いながら、経営支援活動に積極的に取り組んでまいりました。

今後も恒常的に地域企業のニーズに適合した経営支援機能を発揮するため、

1. 創業・経営革新支援
2. 経営改善支援
3. 事業再生支援
4. 事業承継支援

の4つのライフステージに対応した経営支援活動を強化してまいります。

経営改善支援については基本的な活動として位置づけており、経営支援専担部署のほか営業店においても経営支援先を選定し、営業店と本部の連携による経営支援活動を実施してまいります。

事業承継問題は、中小企業の皆様が避けては通れない大きな問題と認識しているものの、多くの方がその対応策で悩まれているのも事実であります。地域企業の廃業や雇用喪失を防止するために、事業承継を円滑に進めることも地域金融機関としての重要な役割であると認識し、事業承継に関する啓蒙活動を展開してまいります。

【具体的取組策および目標】

1. 創業・経営革新支援
 - ・事業計画策定支援のほか立地やプロモーション面のアドバイスを行うなど、スタートアップ支援を実施してまいります。
 - ・事業計画に重点を置いた資金支援を実施してまいります。
 - ・中小企業基盤整備機構等との連携による新連携支援や地域資源活用プログラムなど、中小業支援施策を有効活用してまいります。
 - ・産学連携におけるコーディネーター機能を果たしてまいります。

《平成 19 年度目標》

- ・ 創業・経営革新支援 2 先
- ・ 技術相談等産学連携コーディネート 3 先

2. 経営改善支援

- ・ 専担部署に加え営業店による経営支援活動を展開してまいります。
- ・ 外部機関との連携による経営改善活動を強化してまいります。
- ・ 中小企業診断協会との連携による「企業診断サービス」を、希望する企業に対して実施してまいります。
- ・ 中京大学大学院ビジネス・イノベーション研究科との連携により「企業診断サービス」を希望する企業に対して実施してまいります。
- ・ 当金庫内部での研修に加え、信金中金、中小企業金融公庫、中小企業基盤整備機構などから講師を招き、当庫職員向けに経営支援スキル向上のための研修を実施してまいります。

《平成 19 年度目標》

- ・ 中小企業診断協会と連携した「企業診断サービス」の実施 5 先
- ・ 経営支援先として 568 先を選定

3. 事業再生支援

- ・ 中小企業再生支援協議会(予定されている同協議会全国組織)の活用をしてまいります。

《平成 19 年度目標》

- ・ 中小企業再生支援協議会(全国組織)の活用を検討

4. 事業承継支援

- ・ 税理士等の専門家と連携し、事業承継計画の策定等、個社別、事案ごとに円滑な事業承継に向けた支援を実施してまいります。
- ・ 事業承継対策に関し、現経営者や後継者に問題提起、啓蒙活動を実施してまいります。

《平成 19 年度目標》

- ・ 中小企業診断士や税理士等と連携し、事業承継問題に関する情報交換を実施

【実施スケジュール】

《19年度上期》

- ・ 会計事務所との連携による経営改善支援
- ・ 中小企業診断協会と連携した「企業診断サービス」
- ・ 事業承継に関する地域の会計事務所との合同研究会
- ・ 経営支援に関する職員向けの研修会実施

《19年度下期》

- ・ 技術相談等産学連携コーディネート
- ・ 中小企業診断協会と連携した「企業診断サービス」
- ・ 税理士等と連携し個社別、事案ごとに円滑な事業承継に向けた支援
- ・ 各種セミナー等による事業承継に関する啓蒙活動

【進捗状況】

《19年度上期》

- ・ 会計事務所との連携による経営改善支援を行い、改善計画策定や販売促進策のアドバイスを実施
- ・ 中小企業診断協会と連携した「企業診断サービス」を、4社に対して実施
- ・ 事業承継に関する地域の会計事務所との合同研究会（2回開催）
- ・ 経営支援に関する職員向けの研修会（8回開催）

【計画の進捗状況に対する評価及び今後の課題】

「取引先企業の支援強化」に対する取り組みは、概ね計画通り進捗しており、一定の成果が出ているものと認識しております。今後につきましても、外部専門家との連携を深めるとともに、当庫職員の経営支援スキルの向上を図ることが課題であり、さらに一層の注力をしてまいります。

II. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

【取組方針】

- ①地域の協同組織金融機関として地域金融の円滑化は最も重要な使命であると捉えており、多種多様な中小企業の強みを的確に評価出来る審査機能の強化、目利き力向上に取り組んでまいります。
- ②リレーションシップバンキングで強化されたお客さまとの質の高いコミュニケーションを基に、目利き能力を発揮し、不動産担保や個人保証に過度に依存することなく、キャッシュフローを基本とし、事業価値を見極めた融資審査を行ってまいります。
- ③事業再生支援においては、今まで活用してきたDDS（債権を資本的劣後ローンに転換する手法）やファンド等の他に、事業再生保証など信用保証協会や政府系金融機関の活用等、新しいスキームの利用も検討してまいります。

【具体的取組策】

- ①職員の目利き力の向上
 - ・職員の目利き力向上の為、内部講師による庫内研修を実施してまいります。
 - ・融資能力向上のため外部研修へ参加してまいります。
- ②担保・保証に過度に依存しない融資の推進
 - ・「ご近所ローン」（原則無担保、第三者保証不要）、「地域サポート70」（期間限定商品・原則無担保）を引続き積極的に推進致します。
 - ・信用格付の精度の向上のため、当金庫信用格付と信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベース（以下SDBと表記）との整合性の検証を行い格付精度を高めます。また、職員に対し信用格付についての勉強会を行ってまいります。
 - ・格付精度の向上と共に、クレジットスコアリングモデル（財務諸表を中心に、統計的に算出した倒産確率等によって融資審査を行う手法であり、短期間での融資審査が可能）を利用した商品「ご近所ローン」「地域サポート70」の融資基準を見直してまいります。
当金庫は今後もキャッシュフローや事業計画を重視した審査態勢を整備し、担保・保証に過度に依存しない融資を推進してまいります。
- ③事業再生に向けた積極的取組
 - ・事業再生支援について、外部講師を招いて職員に対し再生スキームの研修を行ってまいります。
 - ・事業価値の高い再生支援先を選定し、公的機関と連携を図りながら事業再生支援を行ってまいります。

【実施スケジュール】

《平成19年度》

Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

【取組方針】

当金庫は、創業以来 70 年地域と共に歩んできた事で、地域の金融機能のみならず、様々な情報を収集・発信してまいりました。今後も、商工会議所等各分野との連携の中で、地域内の資金及び情報の円滑化に力を入れ、お客さまのニーズや課題解決に対して適切なお提案を行い、地域経済活性化に積極的に貢献してまいります。

【具体的取組策】

- ① 「かわしんビジネス交流会」の開催
- ② 「お客様の声のアンケート」の実施
- ③ 情報提供機能の強化

【実施スケジュール】

[平成 19 年度]

- ・ 第 3 回かわしんビジネス交流会の開催。

地域のお客さまのビジネスチャンス創出のお手伝いをし、地域企業の発展に積極的に関わります。

- ・ 「お客様の声アンケート」の実施。

お客さまへの接客態度、商品の種類、店舗の利便性などソフトからハードまで様々な項目を取り入れアンケート調査を実施致します。調査結果を可能な項目から順次経営改善項目として取り上げ、お客さまにとって更に利用しやすいかわしんを目指しております。

- ・ 当金庫役職員による、お客さま対応セルフチェックの実施。

年 2 回「CS（お客さま満足度）向上チェックシート」を利用して自己点検を行う事で、お客様対応の向上に努めてまいります。

- ・ 豊川しんきんニュービジネスクラブ及びイーグルクラブの会員数を増加し、地域のお客さまへの情報提供機能を強化してまいります。

[平成 20 年度]

- ・ 第 4 回かわしんビジネス交流会の開催

- ・ お客さまのニーズや満足度を把握する為の「お客様の声アンケート」の実施

- ・ お客さま対応向上に向けて、年 2 回職員による自己点検の実施

【進捗状況】

[平成 19 年度上期]

「第 3 回かわしんビジネス交流会」を 7 月 6 日(金)、7 日(土)の 2 日間、豊川市総合体育館で開催いたしました。

ビジネス交流会のマッチング状況は下記の通りです。

マッチング成立	28 件
商談中	16 件
見込み他(交渉不成立含む)	8 件
計	52 件

【計画の進捗状況に対する評価及び今後の課題】

ビジネス交流会の成果として、マッチング件数以外は目に見えにくいものではありませんが、多くのお客様からご好評を頂いており一定の成果を上げていると自負しております。

ビジネス交流会の成功は、如何に多くのマッチング機会を設ける事が出来るかだと考えています。多くの企業にマッチングの機会が出来るよう日頃の営業活動を通じてお客さまのマッチングニーズを集め、次回のビジネス交流会に役立てていき、地域のお客さまの発展に積極的に貢献してまいります。

以 上